

交付申請書（様式第1号）記入例

様式第1号（第6条関係）

令和2年7月1日

福井市長様

<申請者>

所在地 福井市中央1丁目2-1

団体名 (特定非営利活動法人) 親子育ちあいの会

代表者氏名 代表 福井 太郎

肩書きを記入してください。（定款や会

法人格がある場合、記入してください。

肩書きを記入してください。（定款や会則とそろえてください。）

団体代表者の印鑑もしくは代表者の私印を押印してください。シャチハタ不可。

福井市非営利公益市民活動促進助成金交付申請書

福井市非営利公益市民活動促進助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 事業名 子育てお悩み相談会

2 助成区分 (イ) 自由提案コース

(ロ) 協働提案コース

(ハ) チャレンジコース

いずれかを○で囲んでください
※本記入例での助成申請額等はチャレンジコースの例となっています

3 助成申請額 金 100,000 円

(算出基礎)

助成対象事業に要する経費のうち、助成対象経費(a)	147,700円
助成申請額	100,000円
(イ) → (a) × 8 / 10以内で上限20万円	
(ロ) → (a) × 10 / 10以内で上限40万円	
(ハ) → (a) × 10 / 10以内で上限10万円	

総事業費のうち、助成対象経費の合計額を記入してください。
収支予算書（様式3号）の助成対象経費の小計欄の額と一致させてください。

収支予算書（様式3号）の収入欄の福井市助成金の金額と一致させてください。
千円未満の端数があるときは、端数金額を切り捨てます。

4 助成金概算払の希望の有無 あり / なし

どちらかを○で囲んでください

5 添付書類

申請者概要書（様式第1-2号）

実施計画書（様式第2号）



収支予算書（様式第3号）

<助成申請額の算出方法>
 (例1) 助成対象経費が206,700円の場合
 $206,700円 \times 100\% = 206,700円$ 上限100,000円を超えるので、
申請額は100,000円
 (例2) 助成対象経費が84,200円の場合
 $84,200円 \times 100\% = 84,200円$ 上限100,000円以内かつ千円未満切り捨てなので、
申請額は84,000円

申請者概要書（様式第1-2号）記入例

様式第1-2号（第6条関係）

申請者概要書

ふりがな 団体名	とくひおやこそだちあいのかい (特非) 親子育ちあいの会		
代表者職名・氏名	会長 福井 太郎 <small>※団体の定款等と一致する職名・氏名であること</small>		
代表者印	 <small>※団体の定款等と一致する職名・氏名であること ※助成に係る書類には同一の印鑑を使用すること</small>		
所在地	〒 910-0006 福井市中央1丁目2-1 <small>※団体の定款等と一致する所在地であること</small>		
連絡責任者	福井 花子		
連絡先	〒 同上		
	TEL 0776-20-5107	FAX 0776-20-5168	
	Mail volunteer@city.fukui.lg.jp		
助成金振込先口座	金融機関名	福井銀行	支店名 福井市役所支店
	口座種別	普通	口座番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
	口座名義 (カタカナ)	※団体の定款等と一致する職名・氏名であること トクヒオヤコソダチアイノカイ	
	トクヒオヤコソダチアイノカイ カイショウ フカイノカイ		
設立年月日	2016年4月1日		
運営状況	会員数	50 人	運営スタッフ数 10 人
活動目的	子育てに取り組む人々への支援を目的に、活動している。		
過去1年間の活動状況	現在は子育て相談窓口の開設や、子育て情報誌の発行を行っている。		
過去1年間の助成金等交付状況	福井市非営利公益市民活動促進助成金	その他の助成金等	
	金額	金額	
	事業内容	事業内容	
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款等（定款、規約又は会則） <input checked="" type="checkbox"/> 団体役員等の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 法人の場合には登記事項証明書又は登記簿謄本の写し <input checked="" type="checkbox"/> 上記口座の通帳の写し <input checked="" type="checkbox"/> 団体の年間活動と予算規模が分かるもの（事業報告書、決算書等） <input checked="" type="checkbox"/> その他、活動状況や助成対象事業の説明書類（新聞記事、写真等）		
申請者は非営利公益市民活動団体であり、上記記載内容に相違ありません。 福井市が市税の課税及び納付状況について調査することに同意します。 団体名 特定非営利活動法人 福井親子育ちあいの会 代表者名 会長 福井 太郎 			

交付申請書（様式1号）と同じ内容を記入し、押印してください。

事務担当者と連絡先を記載してください。
各種の連絡、修正等の依頼、書類送付先として使用します。

助成金の振込先になるため、正確に記入してください。
必ず、口座名義と肩書が交付申請書（様式1号）と一致する口座をご用意ください。

いずれも助成金の振り込み処理に要する重要な書類ですので、必ずご確認ください。
特に、

- 定款等の所在地が、交付申請書（様式1号）と一致すること
- 代表者の肩書と氏名が、交付申請書（様式1号）と一致すること
- 代表者が団体の代表権を有することが、定款等において明らかであることをご確認ください。

実施計画書（様式2号）記入例

様式第2号（第6条関係）

福井市非営利公益市民活動促進助成事業
実施計画書

1 事業名	子育てお悩み相談会 ※協働提案コースのみ —第7次福井市総合計画の施策 No.—
2 申請者	(団体名) (特非) 親子育ちあいの会 (代表者氏名) 会長 福井 太郎
3 事業実施期間	2020年 7月 20日から 2021年 2月 28日まで
4 事業の目的	核家族化や地域の希薄化が進む中、育児に関する相談や、情報交換できる場が少なく、悩みを抱え込みやすい。子育てをする親同士が、気軽にお互いの悩みを打ち明け、意見交換する場を設けることで、育児に対する不安を解消することができる。
5 期待される効果	・子育ての仲間作りを通して、育児に対する親の不安や悩みを解消できる。 ・保育ボランティアを通して学生が育児に関心を持つことができる。
6 事業の内容	(1) 市内の公共施設（保健センター等） (2) 子育て中の親を対象とする。講座1回の定員20名×5回＝100名の参加を予定。 (3) 7～8月 相談会開催に向け、外部講師との打合わせ 9～10月 チラシを作成し、広報活動を実施 10月～1月 月に1回ペースで相談会を開催（計3回） (4) 子育てに関してテーマを設定し、テキストとワークシートを用いながら、参加者同士による意見交換と講師からのアドバイスをもらう交流型講座。 テーマとして、健康、しつけ、親子のふれあい等を予定。 (5) 保健センターや小児病院、保育園等へのチラシ配架、ホームページへの掲載 (6) 団体会員3名（事業担当者）、外部講師1名、ボランティアスタッフ4名で実施。
7 事業の アピールポイント	[公益性] 育児に関する悩みを抱えがちな世代を広く対象とし、多くの情報を提供し、仲間作りの場を提供することで、保護者の育児への不安解消に役立つ。 [市民活動の特性] 会がこれまでに取り組んできた子育て相談業務の経験から、子育て世代の抱える悩みや必要としている情報をキャッチしており、参加者と同じ目線で様々なテーマの講座を企画できる。 [開放性] 育児相談を求める方々の目に触れるよう病院等へもチラシを配架し、保健センターなど子どもと一緒に参加できる会場で開催する。 [ボランティアとの関連性] 相談会当日の運営ボランティア2名と保育ボランティア2名を募集する。福井市ボランティアネットでの募集のほか、県内大学の学生に呼びかける。保育ボランティアには当日までに子どもとの接し方についてレクチャーを行う。
8 市に求める 協働の内容 (協働提案コースのみ)	
9 その他	

交付申請書（様式1号）と同じ肩書きを記入してください。

交付決定日（7月中旬）以後～翌年2月末日までの間の日付を記入してください。
※準備・後始末・支払いの期間も含めてください。

(2)対象者
どのような層を対象にするのか、一般参加者の予定人数を記入してください。
(4)内容と方法
「4 事業の目的」を達成するために、どんな事業を実施するのかを記入してください。
※団体の普段の活動については、「9 その他」に記入してください。
(6)実施体制
事業を実施するための提案団体の内部体制（組織の体制、従事予定人数、役割分担、ボランティアスタッフの有無など）を具体的に記入してください。

募集要領の5ページ「審査基準」の項目の中から、公益性・市民活動の特性・開放性・ボランティアとの関連性など、事業を実施する上で特にアピールできる内容を具体的に記入してください。

- 「公益性」に関しては必ず記入してください。
- 「ボランティアとの関連性」について、ボランティアを募集する場合には、
 - ・どのような活動をしてもらう予定か
 - ・何名募集する予定か
 - ・ボランティア活動者に対するサポートをするのであれば、その内容などを記入してください。

団体のPRなど、特に付記したいことがあれば記入してください。

収支予算書（様式3号）記入例

様式第3号（第6条関係）

福井市非営利公益市民活動促進助成事業 収支予算書

収入 (単位:円)

科目	金額	内訳
福井市助成金	100,000円	
〇〇財団助成金	50,000円	
事業収入	30,000円	参加料 300円×参加者 20人×5回
当会自己負担金	5,700円	
計	185,700円	

福井市助成金の金額は、交付申請書（様式1号）の助成申請額と一致させてください。

ほかの助成団体からも受け取る予定がある場合、記入してください。
※国、地方公共団体からの助成金は不可。

事業収入の予定がある場合は、算出根拠を記入してください。

支出

(単位:円)

助成対象経費			助成対象外経費		
科目	金額	内訳	科目	金額	内訳
報償費	30,000円	講師謝金 10,000円×3回	飲食費	9,000円	講師弁当 1,000円×5回 ボランティアスタッフ弁当 800円×5回
旅費・交通費	6,000円	講師交通費 2,000円×3回	備品費	20,000円	デジタルカメラ
印刷製本費	31,600円	チラシ印刷代 1000部 テキスト印刷代 100部	保険料	9,000円	団体加入保険（団体事業10回で30,000円のうち、3,000円×3回分）
消耗品費	20,000円	コピー用紙、インク代など			
通信運搬費	8,200円	チラシ郵送料 82円×100か所			
使用料	15,000円	会場使用料 5,000円×3回			
賃借料	6,900円	マイク料 500円×3本×3回 プロジェクター料 800×3回			
広告費	30,000円	新聞広告料 30,000×1回			
小計	147,700円		小計	38,000円	
支出計	185,700円				

対象経費、対象外経費については募集要領の5ページを参考にしてください。

●科目、金額
募集要領の対象科目を参考に記入してください。

●内訳
経費の算出根拠を、具体的に（用途、単価、数）記入してください。

<チェックポイント>

- ・自立性の観点から、将来的に単独事業として継続できるような予算計画になっているか。
- ・実現性の観点から、各項目の金額は客観的に妥当であるか。

収入と支出の合計額を一致させてください。

交付申請書（様式第1号）の助成対象経費と一致させてください。

助成対象事業にかかる総事業費の合計額を記入してください。
（助成対象経費小計額+助成対象外経費小計額）